



大学院同窓会評議会を開催しました

会員の皆様には、それぞれの地域、それぞれのお立場でご活躍のことと拝察いたします。また、この度の東北地方を中心とした地震とツナミによる大震災にあわれた会員の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、上越教育大学大学院同窓会に関する活動は、皆様方から入学時に納入していただいた会費によって成り立っています。この会計年度は、6月から新年度が始まります。そこで、5月に理事会を持ち、新年度に入り評議会を開催いたしました。

大学院同窓会には、主に3つの重要な会議があります。大学院同窓会会則第7章「会議」の第16条に「総会」は必要があるときに会長が招集することができ、第17条に「評議会」は本会の重要事項を審議し決定するとあり、第18条に「理事会」は会務の企画を審議し処理するとあります。

5月28日(土)の理事会では、事業報告・会計報告、新年度の事業計画・予算が審議されました。その結果を7月16日(土)の評議会で提案し、審議をいただきました。

評議会を開催した7月16日(土)は、夏の日差しが照りつける非常に暑い日となりましたが、ご多忙にもかかわらず若井学長、佐藤副学長をお迎えして開催することができました。また、各都道府県の同窓会支部から宮城支部、東京支部、埼玉支部、千葉支部、愛知支部の代表の方々が出席されました。震災の影響が懸念されましたが、宮城支部をはじ

め、支部活動を展開している大半のところから出席いただき、感謝申し上げます。

評議会は、新装された上越市の「直江津学びの交流館」の多目的ホールで開催されました。会長はじめ、理事6名、監事1名、評議員7名、計15名の出席がありました。まず、寺田会長の挨拶があり、若井学長より励ましの言葉をいただき、佐藤副学長より上越教育大学の近況についてお話がありました。また、出席された各支部の活動状況についても、自己紹介を兼ねて行っていただきました。

その後、平成22年度の事業報告と会計報告、同監査報告がなされ、報告の通り承認されました。次に、役員について会長より報告がありました。若干、在学中の各専攻コースの評議員が選出されていないところもあり、支部の拡大も含めて課題とされました。

次に、平成23年度の事業計画案と予算案のなかで、上越教育大学の40周年に向けて、記念事業を行うことができるように積み立てをすることが提案され、承認されました。

評議会終了後、若井学長、戸北理事、佐藤副学長にもご参加いただき、遠くからご参加いただいた支部の方々と懇親のひとときをもつことができました。在学中の昔を思いだし、学校現場の諸問題について意見を交わし、今後の上越教育大学と同窓会について語る事ができた貴重な機会となりました。



大学院同窓会事務局長
臨床・健康教育学系 教授 齋藤 一雄

上越教育大学大学院同窓会事務局へのお問い合わせ先
E-mail:dousoukai@juen.ac.jp

大学院同窓会ホームページ
<http://www.alumni.juen.ac.jp/>